



上青木中だより

心身ともに健康な生徒

仲間とともに 心豊かな生徒

考える力を育む生徒

「らしさ」

校長 鈴木 玲

2月6日から、冬季オリンピックがイタリア北部のミラノとコルティナ・ダンペッツォで開催されています。夏・冬どちらの大会も楽しみにしている開会式ですが、今大会もテレビ中継を長時間 見ていました。2024年にフランスのパリで行われた夏季オリンピック大会でもそうでしたが、ヨーロッパの国では特に、景観などにその国の歴史と伝統を感じ、なおかつ先進的な演出で開会式を盛り上げています。今回の冬季オリンピックではミラノの歴史的建造物である「平和の門」の中央にダリアの花のような聖火台が設置され、点火と同時に色と形が変化していきました。また、開会式の中で、イタリア人の慣習として多くのジェスチャーを交えて会話することを表すパフォーマンスが披露されました。どれも、「イタリアらしさ」「イタリア人らしさ」が世界中に表現される素敵な演出でした。

各選手もまた、それぞれの「らしさ」を発揮しているように見えます。フィギュアスケート日本代表の坂本花織選手は、リンクで舞う美しさと競技から離れた時の元気でユーモラスなキャラクターは大きなギャップがあるものの、どちらも「坂本選手らしさ」なのだろうと感じます。さらに、カーリング女子日本代表では「こういうふうに関わってくると力を発揮しやすい」という『自分の取扱説明書』を仲間に説明しているという報道を見ました。選手一人一人が「自分らしく」試合に臨めるとともに、お互いの《トリセツ》を共有することでチームワークを強化したのだと言います。

3年生は今、進路選択の本番を迎えています。高校によっては面接試験を行うところもあります。面接試験では志望動機、今後の目標や将来の夢など様々な質問をされます。その答えに いかにして「自分らしさ」を出すか。自分の胸の内に今ある思いを素直に表現することが大切なのだろうと思います。そして、その思いを表現するためには自分自身としっかりと向き合い、自分がどんな人物なのかを知っておかなければいけません。まずは『己を知る』ということです。カーリング女子日本代表のように自分の力の出し方がわかり、ベストを尽くせるはずです。

自分を知るために必要なのは、実は他者との関係から得られる評価だと言います。「あなたって、〇〇な人だね」 複数の人が言うその姿がその人の本当の「らしさ」なのかも知れません。2学期におこなった3年生との校長面談では「友達からどんな人だと言われますか？」という質問もしました。それもまた『自分』を知っているかどうかです。

また、3年生はおよそ1か月後に卒業式を迎えます。最後まで1・2年生に「上中生らしさ」を示し、伝えていって欲しいと思います。そして、開校以来70年超の歴史と伝統を感じさせる「上青木中らしい」厳かで素敵な卒業式を創り上げてくれることを期待しています。



1年生 夢わーく

1年生は、1月20日（火）～22日（木）の3日間、地域の事業所で、職場体験活動『夢わーく』を行いました。様々な事業所で一生懸命に仕事を頑張る様子が見られました。生徒を受け入れてくださった事業所の皆様、3日間ありがとうございました。



2年生 東京校外学習

2年生は、1月30日（金）に東京へ校外学習に行きました。来年度の修学旅行の練習として、まずは東京駅に集合し、その後、班ごとにそれぞれで決めた行程で、上野や浅草の博物館・寺社仏閣等を見学しました。準備や当日の取り組みの中で見えた成果と課題を、6月の修学旅行で生かしてくれることを期待しています。



🏆 上青木中生のがんばり 🏆

男子ソフトテニス部

■第62回押田記念体育賞

■令和7年度川口市スポーツ協会特別優秀選手賞

■令和7年度埼玉県ソフトテニス連盟表彰優秀選手賞

8名

■令和7年度川口市体育賞スポーツ優秀賞

2名

■令和7年度第36回川口市ソフトテニス連盟杯関東選抜中学校ソフトテニス大会男子の部

第3位 8名

■令和7年度埼玉県読書感想文コンクール

入選 1名

■第66回埼玉県小・中学校児童生徒美術展北足立南地区展

特選 2名

入選 16名

◇ 2月後半の行事予定 ◇

16	月	生徒集会, 7組上青木小学校交流会
19	木	1・2年学年末テスト部活動停止(～21日)
24	火	授業変更(月1-5)
25	水	3年県公立高校入試事前指導
26	木	1・2年学年末テスト①, 県公立高校学力検査(3年出席確認後下校)
27	金	1・2年学年末テスト②, 県公立高校実技・面接(3年出席確認後下校)

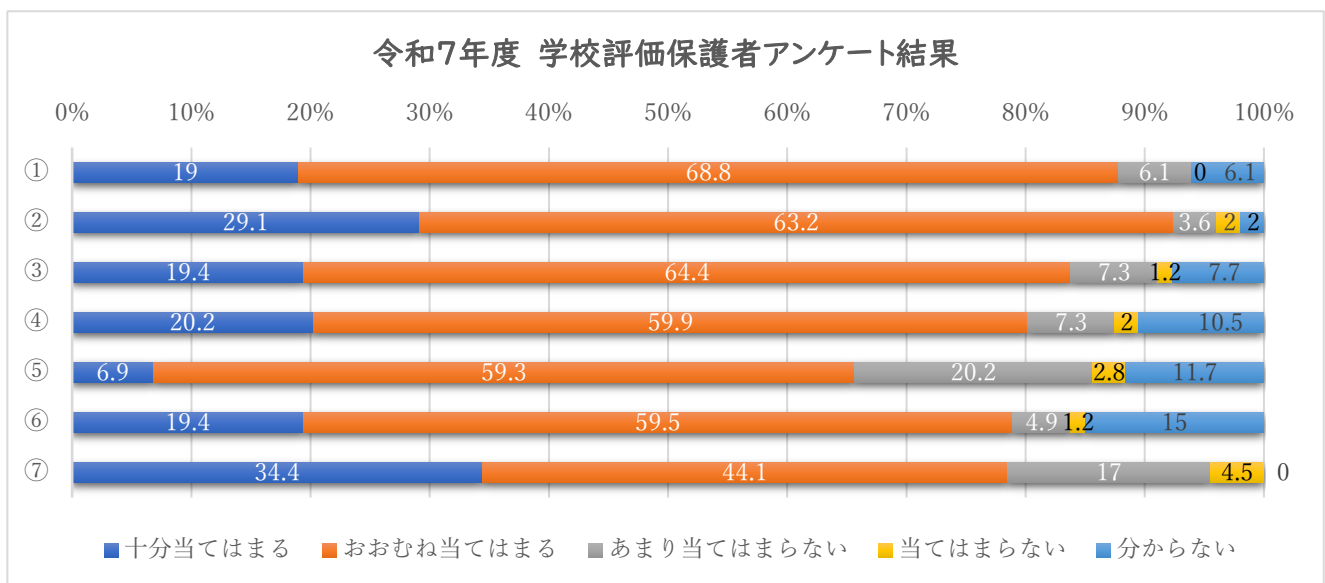
◇ 3月前半の行事予定 ◇

2	月	授業順変更(月34125)
3	火	授業順変更(火642135), 県公立高校追検査
4	水	授業順変更(水341256), 三送会リハーサル・準備
5	木	三年生を送る会, 3年県公立高校発表事前指導
6	金	県公立高校入学許可候補者発表 (3年出席確認後下校)
9	月	授業順変更(月34125)
10	火	授業順変更(火642135)
11	水	卒業式予行練習
12	木	授業変更(木543), 卒業式準備
13	月	卒業証書授与式, 1・2年臨時休業日
19	木	学年末保護者会, 給食最終日

※3年生は、県公立高校学力検査、実技・面接後の3月2日より、卒業式練習での体育館使用等の関係で、特別時間割となります。

令和7年度 学校評価 保護者アンケート結果

	項目
①	学校は、教育方針や教育目標を分かりやすく伝えている。
②	学校は、学校からの便り(学校・学年便り等)や、ホームページ等を通して、お子様の活動状況を分かりやすく伝えている。
③	学校は、家庭と連携・協力して教育活動を進めている。
④	学校は、お子様の悩みや問題に適切に対応している。
⑤	学校は、「心身ともに健康な生徒」の育成を目指し、お子様の健康や安全に配慮して教育活動を行っている。
⑥	学校は、「考える力を育む生徒」の育成を目指し、お子様が自分の意見を持ち、表現できるような教育活動を行っている。
⑦	お子様は、学校生活の様子を家庭で話している。



お忙しい中、アンケートのご回答、誠にありがとうございました。皆様のご意見を受け、学校として次のように取り組んでまいります。

Ⅰ 学校の説明責任と広報活動の視点（質問項目①・②の結果から）

①・②の結果から、学校の方針や生徒の様子については、おおむね提供できていると評価をいただきました。特に、「お子様の活動状況を分かりやすく伝えている」については、「当てはまる」という評価を90%以上いただくことができました。

伝達の方法につきましては、「スクリレの導入で分かりやすくなりました」「紙面とスクリレの両方で配布があるので大変助かります」というご意見をいただきました。

「全ての文書をスクリレ(連絡アプリ)での配布にしてほしい」というご意見もいただきました。

上青木中学校では、中学生という発達段階において、お子様が学年だより等を読むこと、そして、お子様が保護者の皆様に通知文を手渡しすることは、大変重要であると考えております。お子様の自立の力を高めるためです。

以前よりお伝えしている通り、「学校だより」及び「全学級通知のお手紙」については、電子データのみの送付、学年だよりや学級だより等につきましては、紙面にて配布してまいります。さらに、保護者、お子様の両者に確実に伝えたい通知文につきましては、紙面での配布とスクリレ(連絡アプリ)での配信の両方を利用してまいります。

なお、学校だよりやホームページ等の生徒の活動の写真については、SNS等の拡散や加工の危険性があることから、敢えて「顔を掲載しない」「鮮明にしない」ようにしております。ご理解の程よろしくお願いいたします。

ホームページについては、これまで通り、学校行事等の様子をお知らせしていきます。しかし、専門の担当職員がおりませんので、配信にムラがあることはご理解いただきたいと存じます。

2 生徒の健全育成のための連携について（質問項目③・④の結果から）

③・④の結果から、「家庭と連携」や「生徒の悩みや問題への対応」について、「おおむね当てはまる」という評価をいただきました。「授業参観の際、親も一緒にいのちについて話し合った回は素晴らしいと思いました」「担任の先生が細かく子供達に配慮してくれていると感じます」というご意見もいただきました。今後も教職員が家庭と連携を取りながら連絡・相談業務に当たり、生徒・家庭・学校の信頼関係づくりに努めてまいります。

これからも心配なことや気になることがあれば、遠慮なく学校へ連絡してください。親身に対応いたします。

3 学校教育目標の達成について（質問項目⑤・⑥の結果から）

今年度は、新たに学校教育目標である「心身ともに健康な生徒」の育成、「考える力を育む生徒」の育成について質問させていただきました。

「心身ともに健康な生徒」の育成については、「あいさつ運動が育成につながると思います。良い活動なので、続けてほしいです」「行事の参加のための親の同意書等、よく配慮されていると感じます」というご意見をいただきました。

「考える力を育む生徒」の育成については、「生徒会で靴下の色についての提案があり、それが通った際に意見の表現ができる環境だと感じました」「校則の改善を行っている様子があります。また、行事等で中学校へ行く機会がありますが、多くの子ども達の雰囲気明るく元気な印象であります」というご意見をいただきました。

また、授業参観や学校公開について、「学年だけではなく学級の授業を参観したい」「学校公開の回数を増やしてほしい」というご意見もいただきました。保護者・地域により開かれた学校となるように授業参観や学校公開の在り方を検討してまいります。

なお、他の質問項目よりも「分からない」という回答が多くありました。学校教育目標の達成のために本校が行っている取組について、保護者の皆様に、さらに分かりやすく発信できるように工夫してまいります。

4 学校生活の話題性について（質問項目⑦の結果から）

多くのご家庭で「学校生活の様子について家庭で話をしている」という回答をいただきました。特に、「十分当てはまる」という評価が34.4%と、他の質問項目よりも多くの回答をいただきました。「親子の会話の時間を作り、1日の様子を聞き、様子を確認している」など、意識的に声をかけていただいている様子も伺えました。誠にありがとうございます。

学校としても、ご家庭において、学校生活の様子が話題になることを願っています。是非、今後もお家庭での会話が進みますようご協力よろしくお願いいたします。

年度途中のアンケートにも関わらず、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。学校でも教職員と内容を共有しております。お子様の健やかな心身の成長のため、次年度も教職員一丸となって取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。